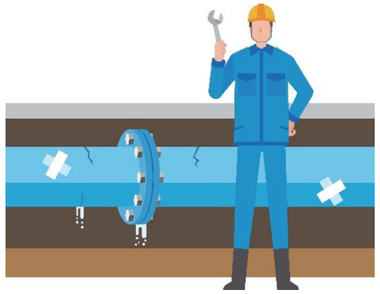
SDGs新聞	JR西日本（西日本旅客鉄道株式会社）
鉄道のチカラでくらしを守る！？	

SDGsラジオを読んでみよう！

みなさんは、朝起きたら何をしますか？水を飲んだり、顔をあらったりしますよね。
私たちが毎日使う水道をはじめ、道路や橋、公園や病院といった「くらしを支えるしくみ」は、人の手で守られています。
しかし今、それらが古くなったり、支える人が足りないという問題が起きています。
その問題を解決するために立ち上がったのが、鉄道の会社「JR西日本」です。
これまで、列車を走らせるだけでなく、まちづくりなどを通して、地域のくらしを支えてきたJR西日本。
その力をいかしながら、いろんな会社と協力してくらしを支えるしくみを守る「JCLaaS（ジェイクラース）」という取り組みをはじめました。
たとえば、京都府や鳥取県をはじめとしたさまざまな地域の市町村と力を合わせて、水道を守る取り組みを進めているんですよ。
豊かなくらしを、未来まで。私たちの生活は、さまざまなしくみに支えられています。
どんなものがあるか、考えてみましょう。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：古くなった水道管と直す人のイメージ

水道や下水道、道路に橋、公園や病院、学校など、私たちの毎日にはたくさんの「くらしを支えるしくみ」があります。このくらしを支えるしくみのことを、「社会インフラ」といいます。ふだんはあまり気にすることがありませんが、止まってしまうと毎日の生活が大変になってしまう大切なものです。社会インフラは長い間使っていると古くなったり傷んだりするため、点検したり直したりすることが必要です。しかし今、日本では、古くなった社会インフラが増えていることや、それらを点検したり直したりする人が足りないことが問題になっています。特に、住む人が少なくなる「過疎」が進んでいる地域では、社会インフラを守り続けることが難しくなっています。そこで、この問題を解決するために新しい取り組みをはじめたのが、鉄道会社の「JR西日本」です。



画像参照：JCLaaSのロゴと概要（JCLaaS公式HPより）

JR西日本はこれまで、北陸や近畿、中国地方を中心に新幹線や鉄道を安全に走らせてきたとともに、駅を中心としたまちづくりにも取り組み、地域のくらしを支えてきました。その経験をいかして新たにはじめたのが「JCLaaS」です。これは、JR西日本をはじめ、人々のくらしを支え続けてきた会社が力を合わせ、水道や道路などの社会インフラを守っていくための取り組みです。京都府や鳥取県などで、市町村や地域の会社と協力しながら、「水道や下水道を安心して使い続けられるようにする取り組み」を進めています。社会インフラをこれからも使い続けていくために、みんなでその問題について考え、行動していくことが大切です。そしてそれが、世代を超えてみんなが豊かにくらせる社会をつくることにもつながっていきます。

キーワード

過疎

地域に住む人が少なくなり、まちや村に人が少なくなっている状態のことです。

JCLaaS

ずっと豊にくらせる社会のために、地域の社会インフラの問題を解決する取り組みです。「JCLaaS」という名前には、日本中みんなが力を合わせ、地域のくらしを未来までつないでいきたいという想いが込められています。

市町村

市や町、村のことです。水道や道路、公園など、地域のくらしを支えるための取り組みを行っています。

対象ゴール



みなさんにできること！	
くらしを支えるしくみにはどんなものがあるでしょうか？考えてみましょう。	
おさらい	●私たちの毎日には、たくさんの「くらしを支えるしくみ」がある。 ●JR西日本は鉄道会社の力をいかして、社会インフラを守るための新しい取り組みをはじめた。 ●豊かにくらせる社会を未来につなぐためには、みんなで力を合わせることが大切。

メモ

SDGs ラジオ